

高校の寮費への支援を求める意見書

国には、島内に高校がないために親元を離れて高校に通う生徒に寮費などの支援を行う「離島高校生修学支援事業」という制度があります。

石垣市は島内に普通高校、商業高校、農林高校と3つの高校があるために、島内の生徒には寮に入っても上記の支援は受けられません。

しかし交通の便の悪い地域からはどうしても公共交通を利用できず寮生活を余儀なくされています。また寮は、与那国町、竹富町の生徒が優先されるため、定員がオーバーするとアパート生活を強いられます。

石垣市北部の平久保、明石、伊野田、野底などの伊原間中学校校区には過疎化対策として、市営住宅が建設され、その市営住宅のおかげで小中学生も増えています。

しかし一番上の子が高校生になると、寮費が負担になり市街地に引っ越してしまうという事態が起こっています。一家が引っ越してしまうので、兄弟の小中学生も減ってしまいます。

今年ついに「平久保小学校が休校になる」という事態になってしまいました。

せっかく小規模校ならではの一人一人に行き届いた教育が受けられる素晴らしい教育環境ですが、経済的な理由で、市街地に引っ越さざるを得ない状況に追い込まれています。

地域の過疎対策、学校存続のためにも、「離島高校生修学支援事業」と同じような寮費への支援をお願いしたく要請致します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月21日

石垣市議会

宛先 沖縄県知事、沖縄県議会議員、沖縄県教育長、地元選出県議会議員